

新城市民病院の地域研修を終えて

豊橋市民病院 研修医 2 年目

新城市民病院での地域医療研修では総合診療科に所属させて頂き、そこで主に初診患者さんの診察と初診の外来から入院となった方の入院診察・管理、それと様々な手技を経験させていただきました。普段私は豊橋市民病院で研修をしており、救急外来で患者さんを診察する機会が多いのですが、この新城市民病院で行う診察を通して普段豊橋の救急外来で行ってきた自分の診察の至らなさを改めて実感しました。そもそも外来の役割が違うと言ってしまうかもしれませんが、問診や身体診察を丁寧に行い、プロブレムリストをしっかりと挙げてそこから何の疾患を疑ってどういう検査を進めていくのかという普段なんとなくやっつけてしまいがちなところをじっくりと進められました。また、その診断・治療・今後のフォローの方法については毎日の夕方のカンファレンスで指導医の先生方と振り返りをし、指導をしていただくことですぐに自分に足りなかったものが何なのかに気付くことができました。普段私たちは救急外来で働いていることもあり、一般外来での今後の患者さんのフォローについて考えることがあまりないので、生活習慣病、健康診断異常に対する生活指導、患者教育や、心理社会的な側面へのアプローチなどをどのように行っていくのか実際に間近で見ることができ大変勉強になりました。

今回私たちが新城市民病院で地域医療研修を行っている期間はちょうど新型コロナウイルス感染症の流行時期であり国から緊急事態宣言が出されているところでした。そのため普段であれば訪問看護や訪問リハビリ、しんしろ助産所やサマリヤの丘等病院外での研修も数多く予定されていたものも中止になり、また三密を防ぐためということで不要不急のカンファレンス等も中止になったことを受け、毎朝実施されていた朝勉強会も中止になってしまいました。その点だけは今回の研修で心残りではあります。

総合診療科の先生方には優しく熱心に指導していただき、またコメディカルや事務の方々にも親切に対応していただいたおかげで、大変有意義な研修を送ることができました。今回のこの地域医療研修を通して学んだことはこれから自分が行っていく医療に生きてくると思います。1ヵ月という短い間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。